

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	人工知能による悪性判定感度100%胃生検自動判定システム開発に向けた多施設共同予備研究
研究責任者 (所属科名)	赤木盛久（内科）
本研究の目的・意義	この研究の成果を用いて、病理医の病理診断業務をサポートし、患者さんの治療に役立つような画像診断補助ソフトウェアを開発することを目的としています。 画像診断補助ソフトとは、例えば、作成された病理標本から“胃がん”という診断を推定することで、病理医の判断を補助するものです。 本研究で作成された匿名加工情報については、本研究以外の目的で二次利用する可能性があります。
研究予定期間	2019年11月～2025年9月
該当資料・データ	2000年1月1日～2024年12月31日の期間に当院にて、消化管の病変に対して内視鏡的に検査や治療を受けた患者さんの病理標本デジタル画像およびその疾患部位の情報を収集します。 当院の研究責任者および研究分担者、株式会社エビデントの研究責任者（中島千賀）および研究分担者などが収集する画像および診療情報を取り扱います。
個人情報の取扱い	収集する画像および診療情報は、研究終了後5年以上厳重に保管され、適切な方法で破棄されます。なお、本研究で作成された匿名加工情報は破棄の対象外とし、エビデントにて適切に保管されます。
共同研究機関	呉医療センター、大阪医療センター、四国がんセンター、長崎医療センター、呉市医師会病院、埼玉医科大国際医療センター、株式会社エビデント
本研究の資金源 (利益相反)	呉医療センター病理診断科・臨床研究部腫瘍病理研究室が有する研究資金
お問い合わせ先	広島記念病院 内科 赤木 盛久(内線:8003)
備考	